

No. 52

12月定例会

平成30年2月23日

目次

定例会の概要	2
議案等審議結果	3
市長所信表明・用語解説	4
代表質問	5～7
一般質問	8～11
山梨市議会活動レポート	11
委員会報告	12～14
常任委員会行政視察	15
議会活動日誌・編集後記	16

やまなし

市議会

だより

総額5,554万円余を減額する一般会計補正予算など28案件を可決しました。



平成30年山梨市成人式

12月 定例会 の概要

市長から提案された、条例改正、平成29年度一般会計補正予算、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める諮問など28件の審議を行いました。

を、マイナンバーを利用して地方税関係情報の連携を行う独自利用事務とするため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第93号

山梨市行政組織条例の一部を改正する条例について

公正、公平な観点を重視した職員の倫理観の醸成、スピーディーな施策の実現、内部管理の連携強化などを目指す組織とするため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第97号

平成29年度山梨市一般会計補正予算（第5号）

新規事業として、市民の連携の強化及び地域振興のため、地域振興基金積立金として3億5,700万円、新規就農者を確保するため、農家の経営規模拡大に向けた農業機械の導入支援、「果樹王国やまなし就業支援事業」として292万円などです。

議案第94号

山梨市交通・火災災害共済条例の一部を改正する条例について

交通災害共済見舞金について、現行の見舞金に入院日数に応じた金額を加算して支給するとともに、火災災害共済見舞金については、1等級から3等級までの見舞金及び、1等級、2等級の会員加算金を増額するため、条例の一部を改正しようとするものです。

事業の見直しとして、「ふるさと納税事業費」の追加2,500万円、「障害児支援費」の追加2,778万円余、「障害者自立支援費」の追加9,705万円、「特定教育・保育施設運営事業費」の追加7,275万円などを補正しました。

議案第95号

山梨市都市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例について

根津橋北側のせせらぎ広場及び市民会館東側堤防が、山梨市管理の都市公園として許可されたことから、万力公園エリアに含め一元管理するため面積を変更するとともに、加納岩児童公園及び水の宮児童公園の面積についても改めるため、条例の一部を改正しようとするものです。

議案第106号

落合正徳寺線跨線橋上部工（その2）工事（明許）請負契約について

請負契約に際し、自主結成の特定建設工事共同企業体による一般競争入札によることとし、10月16日に公告、11月16日に入札を執行しました。共同企業体1社が応札し、昭和建設・藤プラント建設落合正徳寺線跨線橋上部工（その2）工事（明許）共同企業体が1億8,900万円で落札し、消費税を含め2億412万円、11月20日に仮契約を締結したもので、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求めるものです。

議案第96号

山梨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について

「山梨市第2子以降3歳未満児保育料無料化実施要綱」に基づく事務

平成29年12月定例会議案等審議結果

12月定例会議案等審議結果（議長を除く）

（賛：原案に賛成 反：原案に反対）

議案番号	議案名	村田浩	土屋裕紀	根津和博	萩原弥香	清水時保	深沢敏彦	飯島力男	古屋弘和	三枝正文	矢崎和也	武井寿幸	木内健司	飯嶋賢一	岩崎友江	向山輝	審議結果
第93号	山梨市行政組織条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第94号	山梨市交通・火災災害共済条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第95号	山梨市都市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第96号	山梨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第97号	平成29年度山梨市一般会計補正予算（第5号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第98号	平成29年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第99号	平成29年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第100号	平成29年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第101号	平成29年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第102号	平成29年度山梨市水道事業会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第103号	平成29年度山梨市下水道事業会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第104号	山梨市働く婦人の家及び山梨市勤労者福祉センター指定管理者の指定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第105号	山梨市花かげの郷まきおか「道の駅」、山梨市花かげの郷まきおか「彩甲斐公園」、山梨市三富交流促進センター「道の駅みとみ」及び山梨市三富久渡の沢つり場指定管理者の指定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第106号	落合正徳寺線跨線橋上部工（その2）工事（明許）請負契約について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第107号	山梨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第108号	山梨市長等の給与及び旅費条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第109号	山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第110号	平成29年度山梨市一般会計補正予算（第6号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第111号	平成29年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第112号	平成29年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第113号	平成29年度山梨市介護保険特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第114号	平成29年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算（第1号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第115号	平成29年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第116号	平成29年度山梨市活性化事業特別会計補正予算（第2号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第117号	平成29年度山梨市水道事業会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
第118号	平成29年度山梨市下水道事業会計補正予算（第3号）	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認 め る と
請願第2号 願号係	山梨市立笛川中学校断髪事件の学校事故調査の請願の閉会中の継続審査について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	審 査 続

※小野鈴枝議長は採決に加わりません。

高木市長の所信表明

「愛する郷土山梨市」の発展のために、どんな困難にも勇気と覚悟を持って立ち向かい全力で市政運営に取り組んでいく。これまで多くの市民の皆様から頂いた、ご意見、ご提言を大切にして、選挙戦を通じ、訴えてきた7つの政策ビジョンの概要についてお伝えする。

①点目 透明性が高く効果的な行政運営

- ・職員倫理観の醸成を図る。
- ・積極的な情報公開と市民総参加機会の充実を図る。
- ・行政の見える化の推進を行う。
- ・費用対効果、スピード感をもって行政サービスの提供を行う。

②点目 豊かな暮らしを支えるまちづくり

- ・国、県との連携を強化し、首都圏へのアクセスと利便性の向上を図る。
- ・地域の諸活動を支える道路網の整備推進を図る。

③点目 安心し、生きがいをもてるまちづくり

- ・体力づくり、疾病予防等による健康づくりの推進を図る。
- ・C R C Cを旨とした介護サービスの充実支援に取り組む。
- ・訪問介護の充実支援に取り組む。
- ・介護を一時的に代替するサービスであるレスパイトケアを充実させるための支援を行う。
- ・保育の充実、子育て環境の整備を進める。

④点目 災害に強い「安全・安心」なまちづくり

- ・防災マニュアルの作成推進と実践的な防災訓練等による自主防災力の向上を図る。
- ・自主防災組織や消防団などの生の声を反映した望ましい組織づくりを行う。
- ・災害危険箇所への再チェックを行う。
- ・防災専門官の設置など災害時の体制を整備する。

⑤点目 持続可能な農業の推進と果物のブランド力向上

- ・農業を通じ都市農村交流を促進する「クラインガルテン」等の導入を推進する。
- ・水路、圃場整備の促進、簡易雨よけの普及推進等による生産性向上を図る。

- ・ワイン用ブドウの増産支援、六次産業化の推進を図る。
- ・食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられるG A P認証への支援、販路拡大による「山梨市の果物」のブランド力向上への支援を行う。
- ・地域住民と連携した鳥獣害対策検討会を設立する。

⑥点目 人を育み活かす「教育と文化」のまちづくり

- ・峡東地域世界農業遺産登録に向けた県及び峡東3市の連携を強化する。
- ・現代の「寺小屋」普及による学習環境整備への支援を行う。
- ・「実践的な英会話」などによる子供たちの語学力向上に取り組む。
- ・子供たちと向き合う時間を確保するための教職員が多忙化解消に取り組む。
- ・根津嘉一郎翁など郷土の偉人たちに学ぶ機会の創出に取り組む。
- ・スポーツ振興への支援に取り組む。

⑦点目 魅力ある観光地づくり、活力ある商工業の育成

- ・「峡東地域ワインリゾート構想」早期実現のために関係団体との協力強化を図る。
- ・観光客の利便性を図るための基盤整備の充実に支援を行う。
- ・観光資源の発掘による新たな魅力づくりの推進を図る。
- ・商工会との連携による付加価値商品の開発支援を行う。
- ・税の優遇措置等により企業立地の促進および環境整備に取り組む。
- ・県立産業技術短期大学校との連携による人材育成に取り組む。

議会用語解説

～議会だより第52号に使用されている用語を解説します～

用語	解説
定例会	定期的に招集される議会のことです。山梨市議会の定例会の回数は年4回(3月、6月、9月、12月)と定められています。
議案	議会の議決を必要とする市長または議員、委員会が議長に提出する案件のことです。条例の制定、改正、廃止、予算の決定、決算の認定などの案件があります。
一般会計	特別会計、企業会計以外の全ての基本となる歳入歳出を計上した会計のことをいいます。
閉会中の継続審査	会議に付された案件について、当該会期中に議了できず、特に会議で議決して付託を受けた委員会が閉会中に引き続き審査を行うことをいいます。
付託	議会の議決を要する案件について、議会の議決に先立って詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会、特別委員会に審査を委託することをいいます。



問 市政運営に対する基本姿勢について

市長は「ノーサイドになった。全方位を向いて一党一派に属さない市政運営を行う。」と言う一方で、県内2つの政党から推薦を受けている。①当初から市民党を標榜していたのならともかく、国、県にどのような姿勢で臨むのか。また、市長のビジョンの考え方と対応がどのように整合するのかわきたい。②県とは副市長、理事がパイプ役となり得るのか、そのスタンスを伺いたい。

市長 高木晴雄

答 ①来年3月に岩手ランプま

での供用開始予定の西関東連絡道路や、2027年開通予定のリニア駅などにより、「人や物」の移動の高速化時代を捉えられるチャンスが訪れようとしている。

第2次まちづくり総合計画を強力に進め、私の掲げるビジョンで「人と物」の流れを呼び込み、活力あるまちづくりを目指す。このためにも「全方位」を向いた市政運営が全ての土台となると考える。また、市民が主役をよりどころに本市の発展を押し進めるために、誠心誠意取り組みことは、これまでの歩んできたスタンスと合致する。②副市長、理事ともに本市の大きな力となっている。

問 市職員の採用について

職員採用試験に係る不正事件に関する3委員会を立ち上げ、動きだすことになっているにもかかわらず、このような時期に2次試験に立ち会うことを定例記者会見において述べているが、どのような理解があつて発言したのか真意を伺いたい。

市長 高木晴雄

答 責任者として判定に加わる

ことも一つの方法であると考えた。また、再発防止対策検討委員会ですら不正を二度と起こさないための採用試験の在り方を検討していただき、答申いただいた試験方法の内容を重要視する中で、今後活かしていく。

問 教育長の在り方について

①教育長は前市長に任命されたのであり、市長が代わったのだから進退伺いを提出し、けじめをつけることを考えるべきではなかったのか。②職員採用試験における政治的中立性は確保されていたのか伺いたい。

教育長 市川今朝則

答 ①任期期間中は職務を全力で全うしたいと考える。②政治的中立性を踏まえ、公平・公正に採点した。

問 商工業の振興と市内企業の支援について

市内の先端技術を持った事業所が事業拡大などを図ることで税収が増え、雇用拡大に繋がりが市の活性化が期待される。①頑張っている企業にどのような支援と施策を行っているのか伺いたい。②市内企業の優良製品を公共施設に積極的に導入することを考えてはいかがか。

市長 高木晴雄

答 ①事業所の誘致や規模拡大

の支援のため、一定規模以上の事業所の開設には税制優遇制度をはじめ、さまざまな支援を行っている。今後の取り組みとして、敷地の有効活用を図られるように、環境施設面積率の緩和などの条例制定に向けた検討や、山梨市商工会と連携した取り組みなどを行う。

②公共施設への市内企業の製品の導入に積極的に取り組んでいく。

問 廃校の利活用策について

①廃校を活用して自治体が運営する新たな介護保険施設を創設するには、介護医療院制度により平成30年4月から可能になると以前質問した中で述べたが、その後の推移及び官民連携の活用の具体的事例を伺いたい。②廃校となった建物内の整理及び保存について再点検を行い、改善を強く望むがいかがか。

市長 高木晴雄

答 ①来年4月から創設される

介護医療院の動向は、現在の国の省令案が示され今年度中に県が基準条例を制定する予定である。活用事例として、大月市立旧浅利小学校が地域密着型特別養護老人ホームとして活用されている。②廃校舎内の整理整頓については重要であり、教育委員会の責任の下、再点検し改善する。

＜その他の質問＞

○本市における理事の在り方について○リサイクルステーションの状況について○本市における市で保有する公用車について○合併後の市長選挙・市議会議員選挙の各投票率について



▲投票箱



問

高木市長の基本姿勢について

市長の座右の銘は、「至誠惻怛」だとお聞きした。真心を込めて誠実に取り組めば、必ず物事は成し遂げられるという意味だそうである。今、市長はしがらみにとられず全方向に向けた市政運営等、素晴らしい決意を話されたが、有言実行のため、どのような市政運営を考えているのか伺いたい。

市長 高木晴雄

答

有形、無形の資源を最大限に活用し、全ての市民が「住んでいて良かった」と思えるまちづくりを行っていく。そのためにも、しがらみにとられず全方向を向いた中で多くの市民の声を聴きながら、全身全霊を注ぎ込み市民の皆様と一歩一歩着実に、かつ計画的に市政運営を行う。

問

南反保のまちづくりについて

計画されてから、40年余り経過しようとしている。市役所東に位置する、通称「南反保地域」は、市の中心部の中央にある。①まちづくりのリーダー育成についての考えを伺いたい。②面的整備するうえで、企業誘致等を考えているのか伺いたい。③現在の進捗状況及び今後のスケジュールについて伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①南反保地域の整備は、本市の懸念事項であり、重要施策として取り組んでいく必要があると考える。事業を進めていくリーダー的存在は、不可欠であると考えている。このため、地域住民の積極的な参加を呼びかけ、機運を高め、自発的にリーダーが育成されるように取り組む。②百年の計に立った、生活を支えるうえで、必要となる施設を誘導すべきだと考える。③平成30年度に向け、組織づくりへの協力をお願いした。今後、整備手法の検討など、地域住民の皆様と協働で進めていきたいと考える。また、現在、駅南を集中的に整備

しているので、終了次第直ちに整備が行えるよう努める。

問

市道小原東・東後屋敷線に係るJ/R跨線橋整備他について

①市道小原東後屋敷線（第2期）道路改良事業の延長540mの進捗状況と予算について伺いたい。②東山梨駅付近の立体交差を県施工による道路整備に着手していただけるのか伺いたい。③東山梨駅周辺の整備案について、進捗状況を伺いたい。

建設課長 小池正樹

答

①昨年度より、路線測量並びに詳細設計を実施し、本年度は、市道青梅支線から甲州市側に向けて540m区間の用地測量や補償物件の調査を行い、その成果をもとに一部用地買収に入っている。なお、今年度予算は社会資本整備総合交付金8,000万円の交付決定を受けている。②今年2月に、後藤知事を訪問し、「市道小原東後屋敷線に係るJ/R跨線橋整備の要望」を提出したところ、善処するとの回答を得たと聞いている。引き続きJ/Rや地元の皆様と調整を図りながら、整備促進に向け取り組んでいく。③地域の意見集約を目的に、今年1月26日に協議会を設置した。来年1月には、さらに具体的な整備方針について協議会を開催し、東山梨駅

周辺整備に向け協議する。

（その他の質問）

○中山副市長・野中理事の職務の役割等について○職員採用試験に係る不正事件に関する3委員会の設置について○組織機構改革について○大型継続事業推進に向けた市長の考え方について○企業立地の促進と環境整備について○乙女湖周辺と東沢渓谷等の観光資源としての活用について○GAP認証制度の推進とワイン用ブドウ栽培の普及推進について○12月補正予算について○災害に強い安全・安心なまちづくり推進について○山梨市商工業振興指針の改定他について○保育士の確保と公立保育園の今後のあり方について



▲東山梨駅周辺

山友市民の会

飯嶋 賢一 議員



問 職員不正採用事件に関する市の対応と職員倫理観の醸成について

市では職員の不正事件に対し、どのような対応を行っているのか伺いたい。

市長 高木晴雄

答 事件の全容を明らかにし、不正に参与したとされる職員等の処分も含めた対応は、三つの組織を立ち上げて対処する。一つ目は、内部調査委員会となる「山梨市職員採用に係る不正事件に関する調査委員会」の設置であり、不正事件の全容解明をまずは庁内で組織する課長等で行うことにより、不正とされる内容を明らかにし、併せて不正によって採用された職員等の処遇について検討することを目的として組織するものである。

二つ目は、第三者委員会となる「山梨市職員採用に係る不正事件再発防止対策検討委員会」の設置であり、庁内とは別の第三者からなる委員で構成し、内部調査委員会から報告される調査結果を検証したうえで、不正採用された職員の処遇や、再発防止の具体的な方策などを検討し、市長に答申する「諮問機関」として組織するものである。三つ目は、不正に参与した職員等について懲戒処分等を審査するための「山梨市職員採用に係る不正事件に関する職員等懲戒審査委員会」の設置であり、職員に対する処分は、従前、山梨市職員分限懲戒審査委員会により審査をしてきたが、今回の事件が社会に与えた影響等を重く受け止め、今回の事件に対応するための特別な審査委員会を「要綱」により設置し、審査するという考えによるものである。いずれの組織も今月中に組織を立ち上げ、不正事件の全容解明、不正により採用された職員や、その影響により採用されなかった受験者の処遇、関与した職員等の処分などを年度内には決めていく方針である。

問 下水道料金の見直しについて料金改定の内容と実施時期について伺いたい。

市長 高木晴雄

答 審議会から答申された内容に基づく料金改定を行った場合、一般的な家庭では、2カ月で258円、年間で1,548円程度の引き上げで収まり、平均改定率10%になるのは、2カ月で200立方メートル以上の大口使用者のみとなる。今回の改定時期は、来年度の秋ごろを予定しているが、審議会からの答申内容を十分に尊重しつつ、総合的に判断する中で見直し案を提案していきたいと考えている。

問 山梨市交通・火災災害共済見舞金の改定について

①条例改正では、見舞金を増額する見直しとなっているが、これまでの実績を踏まえ、将来的な見直しについては、どのように考えているのか伺いたい。②見舞金を引き上げることの効果についてどのように考えているのか伺いたい。

総務課長 中村貴仁

答 ①平成28年度の山梨市交通・火災災害共済事業の状況は、加入者数は2万4,869人、加入率は68.9%で、共済見舞金は交通事故、火災災害合わせて157件、696万円余を支給した。これまでの決算状況の推移を見ると、支給件数や支給額は各年度により増減はあるが、実質収支は黒字となっており、毎年度、余剰金が生じている。この余剰金は、不測の事態に備えて、山梨市交通・火災災害見舞金支払準備基金に積み立てを行っている。今回の改定内容をもとに、ここ数年の実績で試算した場合でも、加入金総額の範囲内で見舞金が支給できる見込みである。また、平成29年11月末の基金残高は約6,200万円余となっており、改定後も健全な事業運営ができるものと考えている。②加入率は、この10年間で76%から68%と8%減少している。今回、見舞金を改定することにより、一般の保険制度を補完する制度として、本事業への加入者が増えることを期待する。

②「山梨市中期財政見直し」について〇機構改革について〇幹線道路等の整備に関する方針について〇国民健康保険制度について

平成30年度 交通・火災災害共済に加入しましょう!!
~山梨市交通・火災災害共済制度~

交通・火災災害共済とは、市民の皆さんが会費を出し合い、交通事故や火災によって被害を受けた人に見舞金を支払います。加入料は無料です。
今年から「交通・火災災害共済」の会員募集を行いますので、皆様へお知らせいたします。

会費 1人年額 500円

入って安心 家

加入条件

見舞金の額 (交通災害)

等級	見舞金の額	最高1日当り支給対象!
1等	1000円	1000円
2等	2000円	2000円
3等	3000円	3000円
4等	4000円	4000円
5等	5000円	5000円
6等	6000円	6000円
7等	7000円	7000円
8等	8000円	8000円
9等	9000円	9000円
10等	10000円	10000円

▲交通・火災災害共済



岩崎友江 議員

山友市民の会

問 有害鳥獣対策による遊休施設有効活用について

地域の象徴である小学校、保育園、診療所などが閉鎖となり残された施設が荒廃することが予想される。この大切な資産の有効活用を行い、里山地域の活性化に繋がることを期待する。①シカやイノシシを食用として解体、処理するための加工場として廃校した小学校の給食施設の整備を行い、加工された肉はジビエ料理店へ出荷や販売、さらにはペットフードへの加工や、胃の内容物を発酵させ肥料にすることで、環境に優しく無駄なく活用できるのではないかと考えるがいかがか。②新人ハンターの育成指導、ジビエ料理教室の開催など廃校した小学校の活用について考えを伺いたい。③地域雇用の創出として、シカの革や角をバッグ、アクセサリーに加工、製品化、販売できる地域の作業場として廃校の小学校を活用しては

市長 高木晴雄

答

①シカやイノシシを食用として食肉加工する場合は、食品衛生法に基づく食肉処理業の許可が必要であり厳格に規定されている。しかし、ペットフード加工施設であれば、求められる衛生基準が緩和されるので、先進市の事例等を調査、研究していく。②地域の意向や関係者と協議し方向性を出していく。③全国には、捕獲したシカの革や角を加工、製品化し販売に取り組んでいる地域もある。先進地の取り組みについて、調査・研究していく。

問 社会福祉協議会に対する本市の考え方について

社会福祉協議会事務所の老朽化に伴う耐震対策を伺いたい。福祉課長 窪川明彦

答

建物は平成5年3月から市が無償貸与しているが、昭和56年以前の建築のため、耐震基準に適合していないと考えられる。今後、市と社会福祉協議会で移転等について協議する。

《その他の質問》

- 支所業務について
- 観光名所 清水溪谷一之釜について



▲一之釜



三枝正文 議員

新翔会

問 増え続ける空き家の流動化策について

①本市の空き家について補助金の取り組みは、今までのような対応策をしてきたのか伺いたい。②民間不動産業者との連携の考え方について伺いたい。③「空き家対策の総合的な計画」の概要とポイントについて伺いたい。市長 高木晴雄

答

①空き家バンクで成約した物件を対象とした「住宅リフォーム補助金」や成約した物件所有者に交付する「空き家提供奨励金」がある。②県宅建協会との意見交換会や毎月の「無料不動産相談」などを通じて、空き家の流動化策を検討し、移住促進につなげていく。③平成28年度に実施した山梨市空き家等実態調査で把握した内容を基に、必要な対策を講ずるための計画を策定し、今後の基本的な取り組み方針を定めている。計画のポイントは、空き家と利ユーザーのマッチング体制の整備、空

き家等に関する相談窓口の開設、特定空き家等に対する措置や対策などである。

問 市立養護老人ホーム晴風園による高齢者福祉等のあり方について

①晴風園の利用率の推移について伺いたい。②養護老人ホームでの「措置控え」などと報道されているが、本市の状況について伺いたい。③晴風園を活用した高齢者福祉のあり方について、どのように考えているのか伺いたい。福祉課長 窪川明彦

答

①晴風園の入園者利用率は年々下がっており、定員75名に対して今年度の入園者は40名(53%)となっている。②本市では「措置控え」等は行っていない。本市としては入所が必要な方に対しては、随時、措置を行っている。③本市では、晴風園が高齢者支援のために、重要な施設、地域資源であるとの考えのもと、地域包括支援センターと連携を図り、今後高齢者の「心のよりどころ」として活用していきたいと考えている。

《その他の質問》

- 鳥獣害対策について
- マイナンバー制度への対応について



▲晴風園

一般質問



清水時保 議員
日本共産党

問

国民健康保険について

①県が公表した国保事業費納付金の試算によると、県内19自治体は減額となる。本市は減額となるのか伺いたい。②法定外繰入により国保税の引き下げが可能だと考えるが、市の考えを伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①平成29年度の本市の試算結果は、平成27年度と比較すると減額となる。②国保の健全運営のため、国では将来的に法定外繰入は解消していく方針である。被保険者には、特定健診の受診による病気の早期発見・早期治療など医療費削減に協力していただき、国保会計の健全な運営を図りたいと考える。

問

生活保護の認定にあたっての自動車の保有について

生活保護の認定はされたが、自動車の保有は認められず通院や日常生活に支障を来している事例がある。元気になって働いて生きていこうとする気持ちを後押しする、生活実態に寄り添った基準の運用を求めるがいかがか。

福祉課長 窪川明彦

答

国が示した生活保護の実施要領に基づく要件に該当する必要があるが、自動車保有は例外的に一定の条件のもとに保有が認められる場合がある。可能な限り生活実態に寄り添いながら支援していきたいと考える。

問

入学準備金2月支給と就学援助について

来年に向けての入学準備金2月支給と就学援助について進捗状況を伺いたい。

教育長 市川今朝則

答

中学校入学予定者の保護者へへの前倒し支給に続き、小学校入学予定者の保護者である全世帯にも前倒し支給する旨の通知を行った。さらに、準要保護の一定条件を満たした保護者に対し、新入用品費の2月支給に向け、手続を進めている。

問

学校給食の無料化について

来年度の予算編成にあたり、進捗状況を伺いたい。

教育長 市川今朝則

答

厳しい財政状況下で、教育環境の整備が喫緊の課題となっている中、全ての児童生徒を対象とした無料化は厳しい状況にあるが、貧困家庭への給食費支給交付の拡充や一部の補助について、多面的な検討をしていきたい。



▲入学準備



土屋裕紀 議員
新翔会

問

水道施設の更新・耐震化計画について

①市川浄水場の新設は再検討すべきと考えるが必要性について、見解を伺いたい。②既存施設の更新や耐震化を、まずは優先すべきと考えるが完了見込みは何年か伺いたい。

市長 高木晴雄

答

①浄水施設等の建設費、管路の整備費は多額の費用を要するため、今後の給水量に関する要因を調査、分析、研究して対応する。②平成33年度までに耐震診断と耐震化計画を策定し、対策が必要とされた施設は、早急に対応する。老朽化の度合い等を考慮し、更新箇所の優先順位を定める。

問

内水氾濫を防ぐ整備計画について

近年の台風や豪雨の影響により、住宅地に水が溢れる内水氾濫が常態化している水路等が多くある。改善が急務であるが整備の進捗状況を伺いたい。

農林課長 所和雄

答

県営土地改良事業で整備を行っている幹線的な水路整備

問

学校プールの統合または共用利用について

①本市の水泳授業の基本方針を伺いたい。②最も古い山梨南中プール（昭和46年建設）の改善計画を伺いたい。③学校プールを統合した新設や共用利用について市の考えを伺いたい。

教育長 市川今朝則

答

①「山梨市教育大綱」に目指すべき子供像を掲げており、水泳を通して逞しい体作り、自分の命を守る態度を養うことは極めて大切と考える。②安全面を最優先に考え、必要な箇所を修繕し、現施設を使用する。③民間施設の利用や幾つかの学校で共用する新たなプールの新設が現実的と考える。児童生徒をどのように安全に輸送するかを含め、今後、学校・保護者の意向も踏まえ研究する。



▲配水施設



萩原弥香 議員

公明党

問 防災対策に女性の視点を活かすことについて

今、あらゆる場面で防災・減災に対する意識と関心が高まっていく。①本市は、防災対策に女性の視点を活かすことについて、どのように考えているのか伺いたい。②防災会議などの決定権のある発言の場合、女性の参画をどう考えるかがか。

総務課長 中村貴仁

答 ①本市では、防災対策として取り組む様々な事業に女性の参画を促し、意見やアイデアをお聴きし、市の防災計画やマニュアル作成に反映させている。また、子育て支援課主催の親子防災教室では、育児中のお母さんに家庭でできる防災対策を説明、指導するなど自助レベルでの対応力向上に努めている。このほか、女性消防隊による幼児向け防災教育等の活動を行っている。今後も女性特有のきめ細やかな視点を活かし、工

夫を凝らした事業展開を考えていく。②昨年度、防災会議の委員として、関係団体から3名の女性委員を登用し、ご意見を頂いている。これからも様々な機会を通して女性の意見をお聴きしていきたいと考えている。

問 マイナンバー制度におけるマイナンバーカードについて

本市のマイナンバーカードの普及やマイナンバーの活用については現状どこまで進んでいるのか伺いたい。

財政課長 向山正学

答 本市は、マイナンバーカードの普及に向け、平成30年3月まで「取得促進キャンペーン期間」として取り組んでいる。マイナンバーの活用は、電子申請受付システムの「やまなしくらしねっと」を利用し、マイナンバーでの電子申請による受付で「子育てワンストップ」としての児童手当の受給認定請求等、4業務15手続きが平成30年3月から可能となるよう、現在、準備を進めている。

〇子どもへの貧困対策について
〇避難所となる公立学校の防災機能について



▲マイナンバーカード



根津和博 議員

新翔会

問 万力公園の今後の活用・整備について

①今後、ちどり湖をどのように活用していくのか伺いたい。②噴水広場周辺のタイルが経年劣化している。整備予定があるのか伺いたい。③園内全体に通知できる放送設備が必要と考えるが、放送設備を更新する考えはあるのか伺いたい。④空き園舎に新たな動物を入れる計画はあるのか伺いたい。⑤ローラースケート場を今後どのように活用するのか伺いたい。⑥せせらぎ広場及び市民会館東側堤防の活用・管理について伺いたい。

都市計画課長 守屋裕史

答 ①関係団体と協議を行い、有効活用を検討していく。②

来年度で、トイレの更新工事に目処が付く。その後は、噴水広場や園内通路等の抜本的な整備を行う。③緊急時も含め、日常の案内等を園内全域に行えるよう、近隣の同意をいただく中で、整備手法などを研究し、設置を検討していく。④本年度末には動物園全体の基本構想がまとまる予定である。今後は、その構想にあった飼育を基本に展示を計画していく。⑤現在、初めて自転車に乗る子供の練習場など他の目的で利用されているが、今後は、より有効で効率的な活用を検討していく。⑥都市公園の一部となることで、ミズベリングでの活用策が広がり、イベント開催等も可能となり公園や地域のにぎわい創出に繋がると考える。管理についても、来園者に心地のよい憩いの場を提供していく。

問 「西郷どん」と明治維新150周年の取り組みについて

明治維新150周年として本市はどのような取り組みを行うのか伺いたい。

生涯学習課長 望月好也

答 市立図書館では、明治維新西郷隆盛に関する所蔵資料や、林真理子著作の近年の刊行作品を中心に特設コーナーを増設し展示する。根津記念館では、明治150年関連施策事業として、開館10周年記念特別企画展示を検討している。

〇都市農村交流とクラインガルテン等の導入について



▲万力公園フリーマーケット

一般質問

問 市内保育園の現状について
報道によると、県内の保育所に入所する児童数が過去最高となり、保育士の不足が危惧されている。①本市の入所児童数はどのように推移しているのか伺いたい。②公立保育園の保育士配置の現状と将来的な見込みについて伺いたい。

答 ①市内保育園に入園する園児数は3〜5歳児は減少傾向、0〜2歳児は増加傾向にあり、過去5年の全体数は横ばいの傾向にある。平成30年度の見込みは、市内保育園全体で850人前後と見込んでいる。②保育士の配置については、国の基準に基づき60人、加配12・3人を6園に配置し運営している。今後も園児数や園児の状態を見極め、必要に応じて保育士の増員を考えていく。将来的には臨時保育士の確保が難しくなる事が予想されるため、保育士の処



木内健司 議員

公明党

問 ヘルプマーク及びヘルプカードの配布について
ヘルプマークとは、外見では支援や配慮を必要としている事がわからない内部障害の方や妊娠初期の方などが、周囲に支援や配慮を必要とする事を知らせるためのものである。ヘルプカードは、困った時に掲示し周囲の配慮や手助けを求めやすくするカードで、本市でも必要な取り組みであると考えられる。①ヘルプマークを多くの人に認知していただくために周知を図ることについて伺いたい。②ヘルプカードを作成、配布してはと考えるがいかがか。

答 ①ヘルプマークの意義や役割について、市民への啓発に努めていく。②カードには個人情報掲載が掲載され、紛失等による流出が懸念されるといった課題もある。このため、支援が必要な障害者が安心して利用できる情報伝達手段について幅広く検討していく。

○動物警戒標識の設置について
○通学路の安全対策について

福祉課長 窪川明彦



▲ヘルプマーク

山梨市議会活動レポート

New Year Festival 2018 Happy!! 初日の出



平成30年1月1日に、笛吹川フルーツ公園で「New Year Festival 2018 Happy!! 初日の出」が開催され、議員が参加しました。晴天に恵まれ、霊峰富士や甲府盆地が一望できる高台から、初日の出を拝むことが出来ました。

平成30年山梨市消防出初式



平成30年1月7日に、山梨北中学校校庭で「平成30年山梨市消防出初式」が挙行され、議員が出席しました。

防火・防災・防犯への決意を新たに、今年1年皆様が安全に過ごせるよう祈念しました。

総務常任委員会

付託議案

議案第93号	山梨市行政組織条例の一部を改正する条例について
議案第94号	山梨市交通・火災災害共済条例の一部を改正する条例について
議案第97号	平成29年度山梨市一般会計補正予算（第5号） 関係付託部分
議案第106号	落合正徳寺線跨線橋上部工（その2） 工事（明許） 請負契約について
議案第107号	山梨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第108号	山梨市長等の給与及び旅費条例の一部を改正する条例について
議案第109号	山梨市職員給与条例の一部を改正する条例について
議案第110号	平成29年度山梨市一般会計補正予算（第6号） 関係付託部分
議案第111号	平成29年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

総務常任委員会

- ◎根津 和博 ○土屋 裕紀
- 清水 時保 飯島 力男
- 古屋 弘和

問 火災災害共済見舞金について、地震による火災の場合に見舞金が支給されるのか伺いたい。

答 自然災害によるものは適用外である。

問 市で設置している防犯灯のLED化が社会資本整備交付金のメニューから外れたための減額補正だが、今後の事業の流れ及び財源はどのようにするのか伺いたい。

答 新たな財源がないか調査し探しているが適当な交付金等が見つかからない。一般財源により計画的に整備していくことを考えているが、交付金事業が活用できないので整備数量は減ってしまった。来年度についても、交付金を探しながら一般財源で対応出来る範囲で、整備していきたいと考えている。

問 ふるさと納税の使途、都道府県別の寄附件数及び割合について伺いたい。

答 寄附していただく際の使途のメニューは、市街地や生活インフラの整備、地域資源を生か

した産業経済の活性化、子育て・学校教育・福祉の充実、使途の指定なしの4種類となっている。指定がないものについては、子育て支援や福祉の充実に積極的に活用していくこととしている。寄附件数及び割合については、平成28年度の実績は、寄附件数13,069件のうち東京都3,717件、28・44%、次いで神奈川県1,551件、11・87%、愛知県970件、7・42%、以下、大阪府、千葉県と続き、47都道府県の全ての方から寄附をいただいている。

問 一般競争入札において、1社の応札ということだが問題はないのか。また、落札率及び落札率に対する考え方について伺いたい。

答 一般競争入札においての1社入札は問題ない。また、落札率については99・3%で



▲総務常任委員会での審査の様子

ある。落札率に対する考え方については、過去においては予定価格より低い金額で契約することが望ましいとされていたが、落札率が過度に低いということは、市の設計積算自体が正しいのかということにもなり、結果にあまり差異が出ないことで、市及び業者とも適切な積算が行われているものと考えられる。

問 社会資本整備交付金の内示額が下がった分の事業はどのようにしているのか伺いたい。

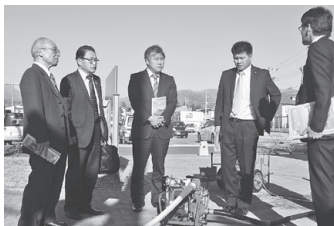
答 国の内示額に準じた事業規模で実施している。一部、単独事業も出てしまう部分もあるが、補助金の対象事業だけで対応するよう事業執行している。

問 繰入金、財政調整基金、繰越金、合併特例債などは、社会資本整備交付金の内示とは関係なく予算を組み立てているのか伺いたい。

答 起債については、交付金の内示が減額したため減額補正しているが、合併特例債は900万円ほど増額している。社会資本

整備交付金は、当初、国の内示は60%であったが、今年度から補助率が減少され56・65%になった。駅南整備については、駅舎整備に合併特例債を充当、南北自由通路以外の道路整備は土木事業債を充当しており、交付金は減額されているが、事業内容を見直した結果、合併特例債は増額、土木事業債は減額している。基金の繰入金金の減少等についても事業債に一般財源を充当している部分があるので、その部分の基金を崩さず積み戻して財政運営をしている。

調査として、女性消防隊育成事業において購入した小型可搬ポンプ及び台車の備品及び作動状況について確認を行った。



▲小型可搬ポンプ及び台車の備品及び作動状況についての確認

委員会報告

建設経済常任委員会

付託議案

議案第95号	山梨市都市公園設置及び管理条例の一部を改正する条例について
議案第97号	平成29年度山梨市一般会計補正予算(第5号) 関係付託部分
議案第98号	平成29年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)
議案第100号	平成29年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
議案第101号	平成29年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第2号)
議案第102号	平成29年度山梨市水道事業会計補正予算(第2号)
議案第103号	平成29年度山梨市下水道事業会計補正予算(第2号)
議案第104号	山梨市花かけの郷まきおか「道の駅」、山梨市花かけの郷まきおか「彩甲斐公園」、山梨市三富交流促進センター「道の駅」とみ「道の駅」、山梨市三富久渡の沢つり場指定管理者の指定について
議案第105号	山梨市花かけの郷まきおか「道の駅」、山梨市三富久渡の沢つり場指定管理者の指定について
議案第110号	平成29年度山梨市一般会計補正予算(第6号) 関係付託部分
議案第112号	平成29年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)
議案第115号	平成29年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第116号	平成29年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第2号)
議案第117号	平成29年度山梨市水道事業会計補正予算(第3号)
議案第118号	平成29年度山梨市下水道事業会計補正予算(第3号)

問

農業振興費について、新たに創設した果樹王国やまなし就農支援事業補助金はJA関連の企業を通して、農機具をリースするものであるが、民間企業から農機具を購入するための補助事業はないのか伺いたい。

答

果樹王国やまなし就農支援事業補助金については、農家子弟を対象とし一定の条件を付した上で農業用の機械の導入を支援するものである。また、民間企業から農機具を購入する場合には、認定農業者が農機具を購入する際に3分の1の助成を得られるが、今年度については申請がなかったため、全額、補正減している。

問

市営住宅の維持管理経費について、建築設備定期報告検査業務の対象等について伺いたい。

答

今年度の7月に、建築基準法に基づく建築設備等の定期点検報告を義務付けるよう県から通知されたもので、5階以上の市営住宅の藤の木団地、大野団地、日川団地、小原団地、定住促進小原東住宅、定住促進小原東第二住宅が対象となる。点検については特定建築物等の所有者に調査を依頼された建築士が調査を行い、特定行政庁に報告書が提出される。その後、山梨県建設設計協会を通じて報告書の副本および改善報告書などが建築物所有者などに報告され、指摘事項がある場合は是正する。この点検は毎年行うもので、内容については、換気風量測定、排煙風量測定、非常照明の照度測定、避難通路路部非常照明の照度の測定を行う。

問

山梨市駅南地域整備事業について、今後の見直しなどを

伺いたい。

答

整備事業については全体計画を立てており、4年間の契約の中で毎年JRと協定を結び、次年度にかかる費用を決めている。補助金に関しては、不足にならない形での予算要求を行い、来年度以降事業が停滞しないような予算配分の中で事業の要望を行い、予算を確保していきたい。

問

道の駅等の指定管理者の指定については、企画書の提示があったのか。また、次の指定期間において目指すものはあるのか伺いたい。

答

山梨市公の施設指定管理者選定委員会において企画書の提示があり、候補団体である有限会社道の駅みとみについてはこれまでの経験と実績、経営努力が認められる等の理由から選定された。道の駅の経営状況について

建設経済常任委員会

◎三枝 正文 ○深沢 敏彦
村田 浩 矢崎 和也
木内 健司 飯嶋 賢一



▲建設経済常任委員会での審査の様子

は、平成26年に約1,300万円の累積赤字があったが、平成27年に約800万円、平成28年には約350万円ほどに減少している。今期の決算も黒字となる見込みであり、更なる累積赤字の減少が、経営努力の成果と考えている。選定委員会においては、引き続き良好な管理運営が行われることが期待されており、今後も更なる努力をするよう指定管理者に働きかけたい。

教育民生常任委員会

付託議案

議案第96号	山梨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例について
議案第97号	平成29年度山梨市一般会計補正予算(第5号) 関係付託部分
議案第99号	平成29年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第2号) 関係付託部分
議案第110号	平成29年度山梨市一般会計補正予算(第6号) 関係付託部分
議案第113号	平成29年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第114号	平成29年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)

教育民生常任委員会

- ◎岩崎 友江 ○萩原 弥香
- 小野 鈴枝 武井 寿幸
- 向山 輝

るが、利用に際して、障害者手帳は必須ではないため、学習障害等の児童も利用しやすい利点がある。

継続審査中であった請願第2号(山梨市立笛川中学校断髪事件の学校事故調査の請願)については、全会一致で引き続き継続して審査すべきものと決定した。

問 介護保険特別会計において、地域密着型介護サービス給付費を増額補正する理由について伺いたい。

答 平成28年度から、利用定員が18人以下の小規模なデイサービスが、県から市の地域密着型サービスという位置づけに変更となったため、給付費が増加しており、平成29年度も引き続き増加傾向となっているためである。

また、デイサービス、ヘルパー及び宿泊が在宅で利用できる小規模多機能型居宅介護サービスについても、年度当初は利用定員に満たない見込みであったが、実際には利用者が定員となったため、給付費について増額補正を行った。

問 市立産婦人科医院の利用者数を伺いたい。

答 市立産婦人科医院が開院した6月から10月までの実績である。外来患者月平均数は1,316人、分娩数は6月が31件、7月が30件、8月が23件、9月が20件、10月が32件である。分娩以

外の入院者数は6月が29人、7月が37人、8月が24人、9月が33人、10月が32人である。

問 根津記念館で販売している商品が充実させたということだが、以前と比べてどのように変わったのか伺いたい。

答 根津記念館建設当初から、公益財団法人根津美術館から商品を仕入れていたが、昨年度までは販売に関する取り決めがなかったため、定期的な商品の仕入れがされておらず、積極的な販売ができなかった。

今年度からは、「委託販売に関する覚書」を正式に取り交わし、定期的な商品の仕入れをするようになった。このことにより、取り扱う商品の量・種類が充実され、仕入れ額が増加となったが、それを超える販売額となっている。今後更に、仕入れ商品の充実を図っていききたい。

問 学校給食センターの配送業務はどのように行うのか伺いたい。

答 学校給食を運搬する配送車は4台のリースとし、1台につき2校から3校を分担して配送する。第1便で食器、第2便で出上がった給食を配送する流れになる。配送業務については外部委託とする。

問 来年度、2学期からの業務が開始できるよう、各小中学校に既存の建物を活用した、給食の受皿となるプラットフォームを設置する。山梨北中学校については、老朽化により既存の建物を利用したプラットフォーム設置ができないため、新たなプラットフォームを設置する。

問 放課後等デイサービスの利用者数、18才以下の障害者の人数を伺いたい。

答 月に約70人が放課後等デイサービスを利用している。また、障害者手帳を所持する市内の18才以下の障害者は身体障害、知的障害を合わせて103人である。放課後等デイサービスの対象は、6才から18才までの児童であ



▲教育民生常任委員会の審査の様子

常任委員会行政視察

総務常任委員会

視察日 平成30年1月16日(火)～18日(木)

- ① マイレポはんだについて (愛知県半田市)
- ② 若者議会について (愛知県新城市)
- ③ ドローンを活用した災害対策について (静岡県焼津市)

【常任委員長所感】

① スマートフォンという身近なICTを活用し、簡便に課題・問題を伝えられ、解決できるツールとして役立てられている。また、行政の対応状況も確認でき、行政の見える化の促進も図られている。市民と行政とが協働で問題を解決するシステムに興味深いものを感じた。

② 世代のリレーができるまちづくりを掲げ、若者が活躍できるまちの形成の推進に取り組んでいる。市民と行政がともにまちの今後を考え、市民主体のまちづくりを進めていくために、次代を担う若者の力をいかに取り入れていくことができるか参考となる事例であった。

③ 迅速な被害状況の把握や、適切な応急対策の検討が行われ、また、視覚的に情報を住民へ提供することで危機意識が高まり、具体的な備えや避難行動に繋がっている。活用範囲の幅広いドローンは、有効に活用できるものではないかと感じた。



建設経済常任委員会

視察日 平成30年1月22日(月)～24日(水)

- ① 常滑市やきもの散歩道地区景観計画と日本遺産「きとと恋する六古窯」について (愛知県常滑市)
- ② イモ発電を活用した農業・福祉・エネルギーをつなぐまちづくりの推進について (滋賀県湖南市)
- ③ Okabiz(岡崎ビジネスサポートセンター)を核とした企業支援について (愛知県岡崎市)

【常任委員長所感】

① 景観計画により建築物等の保全及び改修への助成金制度など、住民、事業者、行政が一体となり本地区の景観を維持、保全するとともに、「六古窯日本遺産活用協議会」を設立し、日本遺産としてブランド力の向上などを図っている。既存の集落の保全や観光活用の方策等、当市でも参考となる。

② 農業、福祉、エネルギーをつなぐまちづくりとして、サツマイモによるバ

イオマス発電実験や収穫後のサツマイモのイモスイーツなどの新たな特産品づくりなどを行っている。また、市民共同発電所のシステム



は、出資する市民が地元商工会で利用できる地域商品券による配当を受けるもので、市内で消費を循環させるシステム等、学ぶべき点がある。

③ Okabizは売り上げを伸ばしたなどの経営課題を持った企業に対し相談を受け付けており、高い相談能力を持ったコーディネーターやアドバイザーにより的確な解決策を提案している。中小企業などを支援する仕組みは非常に興味深い。

教育民生常任委員会

視察日 平成30年1月25日(木)～27日(土)

- ① 認知症初期集中支援チーム事業及び認知症介護者家族交流会について (栃木県足利市)
- ② ICT教育について (茨城県つくば市)
- ③ 学習支援について (東京都NPO法人キッズドア)

【常任委員長所感】

① 足利市では、認知症の疑いがある市民を支援するために、平成27年10月から認知症初期集中支援チーム事業を行っている。様々な職種ของทีม員が対応することで、より専門的な視点から受診やサービスを提案できている。また、認知症介護者家族交流会やたかろばカフェといった認知症に関わる方々の居場所を提供している。

② つくば市では、約40年前からICT教育を行っている。各小中学校にタブレットが約40台、電子黒板が各階に1

台配備されており、それらの機器を用いたICT教育を通じて、プレゼンテーションコンテンツスやアクティブラーニングなど主体的・対話的に学べる教育を行なっている。

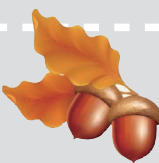


③ キッズドアでは経済的な理由で十分な教育が受けられない子どもを対象に無料で参加できる学習会を開いている。学習会等の拠点数は約60カ所、登録生徒数は約2,000人であり、年々増加傾向にある。各学習会によって違いがあるが、週1回程度開かれていて、運営費は寄付金や行政からの委託費によって賄われており、大学生や社会人など様々な方々が登録ボランティアの講師として協力している。

議会活動日誌

11月

- ・会派代表者会議 (28日)
- ・議会運営委員会 (28日)
- ・議員全員協議会 (28日)
- ・甲州市議会正副議長就任挨拶対応 (29日)



12月

- ・平成29年12月定例会 (1日～22日)
- ・議会運営委員会 (14、21日)
- ・議員全員協議会 (14、21日)
- ・第13回山梨市地域福祉大会 (16日)
- ・山梨市ソフトボール協会平成29年度納会 (16日)
- ・会派代表者会議 (21日)



1月

- ・New Year Festival 2018 Happy!! 初日の出 (1日)
- ・平成30年山梨市議会新年互礼会 (4日)
- ・平成30年山梨市消防出初式 (7日)
- ・平成30年山梨市成人式 (7日)
- ・第31回山梨市経済団体役員新年互礼会 (12日)
- ・総務常任委員会行政視察研修 (16日～18日)
- ・山梨市建設協会新年会 (16日)
- ・山梨市柔道連盟懇親会 (21日)
- ・建設経済常任委員会行政視察研修 (22日～24日)
- ・山梨市老人クラブ連合会新年会 (23日)
- ・まちづくりにつながる市長と市民のふれあいトーク (山梨北地域) (23日)
- ・千葉県南市議会議長会正副議長研修会 行政視察受け入れ (24日)
- ・教育民生常任委員会行政視察研修 (25日～27日)
- ・岩手地区区長会新年会 (28日)
- ・議会運営委員会 (29日)
- ・議員全員協議会 (29日)
- ・議会だより編集委員会 (29日)
- ・尚志会・日本共産党合同行政視察研修 (1月30日～2月1日)

- ・まちづくりにつながる市長と市民のふれあいトーク (山梨南地域) (30日)

2月

- ・全国広域連携市議会協議会 正副会長・監事・相談役会議 (1日)
- ・全国広域連携市議会協議会第68回理事会 (1日)
- ・全国広域連携市議会協議会第49回総会 (1日)
- ・まちづくりにつながる市長と市民のふれあいトーク (牧丘地域) (1日)
- ・根津記念館歳時記イベント「節分豆まき」 (3日)
- ・山梨県市議会議長会議員合同研修会 (6日)
- ・第33回山梨県市町村自治講演会 (6日)
- ・まちづくりにつながる市長と市民のふれあいトーク (三富地域) (6日)
- ・第13回山梨市老人福祉大会 (7日)
- ・山友市民の会行政視察研修 (8日～10日)
- ・新翔会・公明党合同行政視察研修 (13日～15日)
- ・広島県三原市議会行政視察受け入れ (13日)
- ・教育民生常任委員会 (23日)
- ・「富士山の日」フェスタ2018 (23日)
- ・「第13回自然と清流・果実の里 やまなし短歌大会」表彰式 (24日)
- ・議会運営委員会 (26日)
- ・議員全員協議会 (26日)



3月定例会開催予定

- 2月28日(水) 開会
- 3月6日(火) 常任委員会
- 9日(金) 本会議
- 14日(水) 本会議(代表質問)
- 15日(木) 本会議(一般質問)
- 16日(金) 常任委員会
- 19日(月) 常任委員会
- 23日(金) 本会議(閉会)

※全日程午前10時から開会予定

山梨市議会ホームページでも、議会だよりなどの議会情報を見ることができます。
ホームページアドレス
<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/citizen/gover/assembly/>



山梨市議会
山梨市議会を検索してください

議会だより編集委員会
委員長 根津和博
副委員長 武井幸博
委員 小野枝幸
委員 岩崎和博
委員 三村浩文

輝かしい2018年を迎えられた市民の皆様、並びに成人を迎えられた422名の皆様、重ね重ねおめでとうございます。
総務、建設経済、教育民生の各常任委員会がそれぞれの分野で視察研修を行い、見分を広めて参りました。議会だよりには、その報告等を兼ねて掲載した部分など併せてご愛読いただければ幸いに存じます。
また、市民の皆様方には、議会だよりに対するご意見、議会運営に対するご意見は貴重です。お声をお寄せください、お待ちしております。

岩崎 友江

編集後記